

はじめに

京都府では、これまで道徳教育の充実に向けて、「心の教育」学習資料集「京のこども 明日へのとびら」と「活用事例集」「実践事例集」の作成・配付や、高等学校での「さわやかハート応援プロジェクト」など、積極的な取組を行ってきました。そして、現在、京都の未来を創造する人間形成に向けた教育の推進のため、「京都府教育振興プラン」（平成 23 年 1 月策定、28 年改定）の重点目標の一つとして「人を思いやり尊重する心など、豊かな人間性をはぐくむ」ことを掲げ、道徳教育の一層の充実を図っているところです。

これを受け、小・中学校においては、道徳教育の全体計画及び「道徳の時間」の年間指導計画の改善とともに、「道徳の時間」についても、各教科等との関連をもたせた指導や、地域や児童生徒の実態に応じた特色のある取組が進められています。

しかし、一方で、「道徳の時間」の年間指導計画の中で授業展開の概要や指導方法等まで示している学校は、100%に至っていない状況にとどまっており、道徳教育全体計画の別葉の作成と併せ、道徳の教科化を見据えた取組の一層の充実が求められるところです。また、中学校における生徒指導上の課題からも、道徳教育のさらなる充実が喫緊の課題であるといえます。さらに、高等学校においては、学校の教育活動全体を通じて人間としての在り方生き方に関する教育を進めるために、小・中学校段階からの継続した道徳教育を推進することが求められています。

本書は、各学校の教職員が学習指導要領の趣旨に沿って道徳教育を実施するための基礎的理解を深めるための研修資料として、まず、前半部分に理論編を設けています。また、実際の指導を改善するための実践研究の資料として、後半部分には「読み物教材」を使った学習指導案の例を掲載しています。記述に際しては、学習指導要領及び解説編を踏まえつつ、実践場面に即したわかりやすい表現を心がけています。その趣旨から、典型と考えられる一例として、想定される児童生徒の発言や指導者の発問などの具体例を挙げています。

なお、本書の編集に先立って、「道徳の時間」の指導に当たる教員の課題意識を把握するため、京都府総合教育センターの研修受講者を対象としたアンケートを実施しました。本書は、そこで明らかになった教員の疑問や課題意識にこたえられる内容構成にしています。各章の内容・紙面は、疑問・質問に答える形で作成し、目次によって必要な項目が手軽に見つけ出せるように工夫しています。

本書の作成に当たっては、学識経験者、道徳教育研究会関係者、そして、小・中・高等学校で実践研究を進めている教員からなる編集委員会を通じて、道徳教育にかかわる理論整理、実践事例の提供、文案の検討などについてお世話になりました。御協力いただいた皆様方には、この場をお借りし、改めて感謝申し上げます。

本書が各学校での研修や授業改善の資料として大いに活用され、京都府における道徳教育が一層推進されることを期待しています。

なお、学習指導要領の一部改正（平成 27 年 3 月）に伴い、昨年度に内容を改訂したところですが、「小学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編」（平成 29 年 6 月）及び「中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編」（平成 29 年 7 月）における評価に関する記述を踏まえて、本年度改めて内容を改訂しました。